

資料2 南丹市の現況

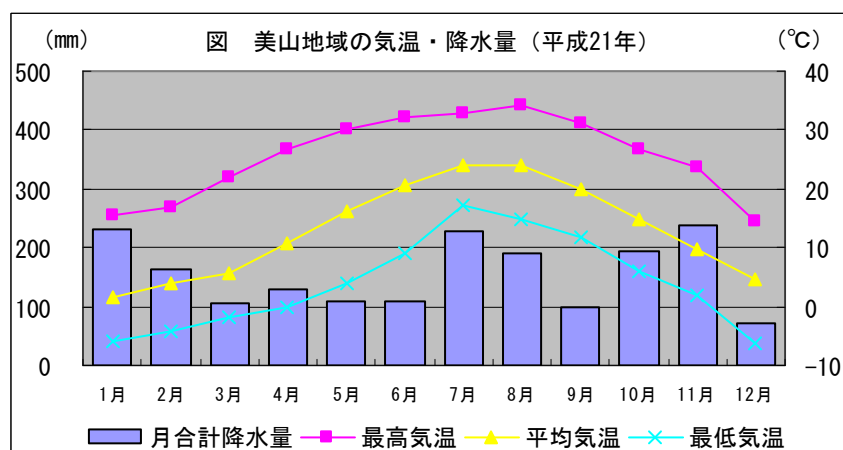
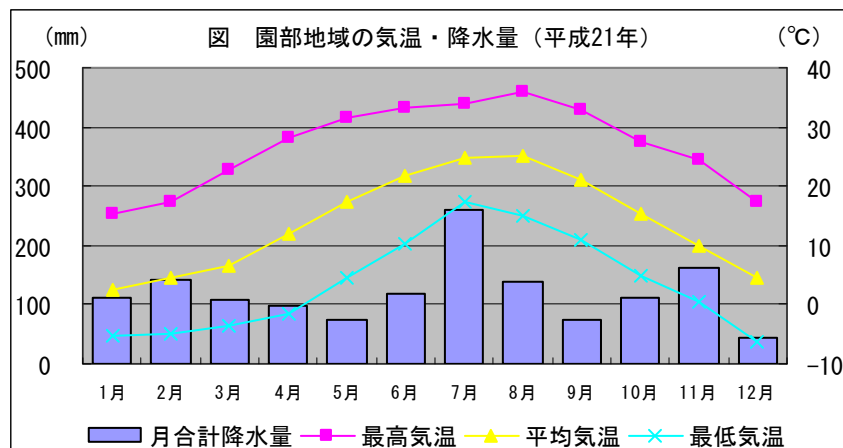
1. 都市の現況

(1) 自然的条件

① 気候

夏は京都市などの盆地に比べ比較的涼しい高原的気象を現し、昼夜の寒暖の差が大きくなっています。冬は冷え込みが厳しいという内陸性気候を示す反面、日本海式気候の影響を受け、季節風が吹き、しぐれやすく、降雪や積雪がみられますが、丹波高原の南麓に位置するため、丹波地方の北部に比べ比較的温暖で降霜・降雪量も少なくなっています。

平成21年の最高月平均気温は園部地域で36.0℃、美山地域で34.3℃、最低は園部地域と美山地域ともに-6.2℃と寒暖の差が激しく、雨量は園部地域で7月、美山地域で11月に最も多くみられました。



(出典：京都地方気象台)

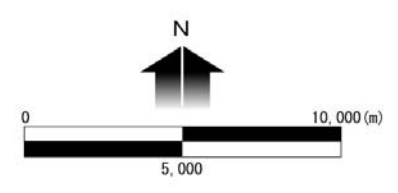
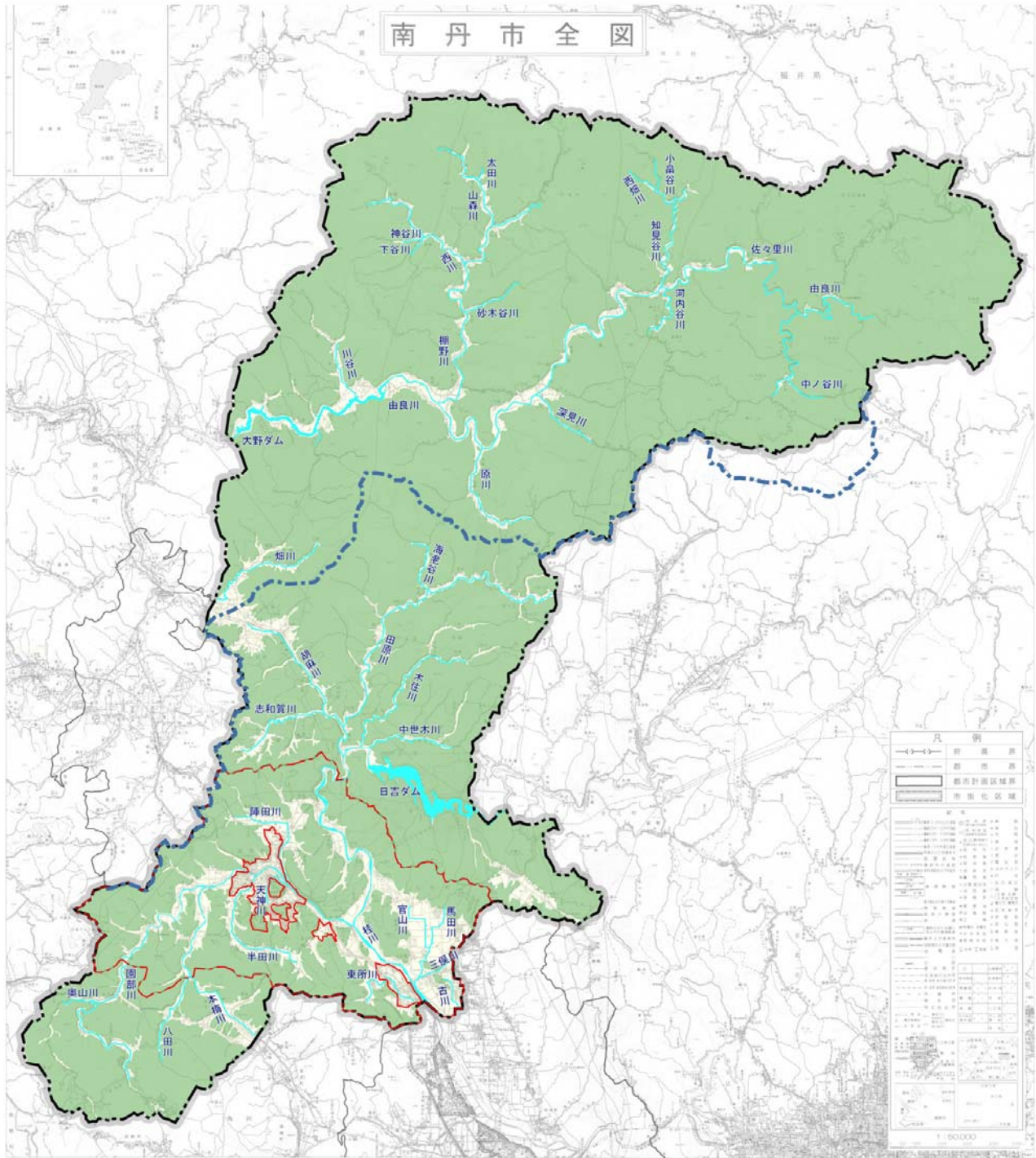
② 地形・水系

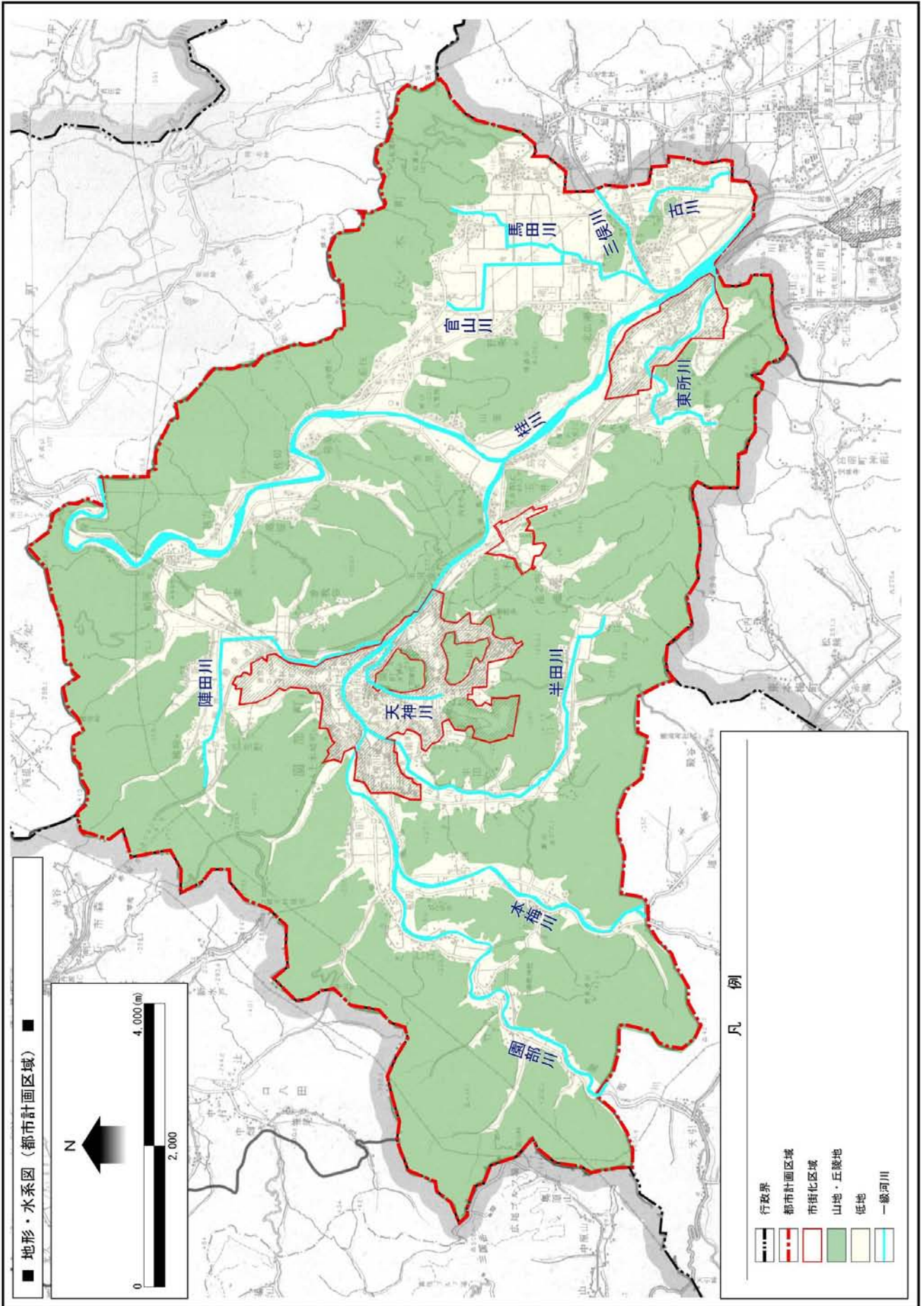
緑豊かな自然に恵まれた地域で、市域の88%に相当する約54,300haを丹波山地などの森林が占めています。

北部を由良川が、中・南を淀川水系の桂川(大堰川)が流れ、その間に標高100m程度のいくつかの山間盆地が形成され、南部は亀岡盆地につながっています。

市街地の桂川、園部川沿いの平坦部には肥沃な耕地が開けており、古くから農業が盛んとなっています。

■ 地形・水系図（南丹市全域） ■





(2) 歴史的条件

① 沿革

南丹市は、平成 18 年 1 月、園部町、八木町、日吉町、美山町の 4 町が合併し誕生しました。

【旧園部町】

- ・旧園部町は、昭和 4 年に園部村と桐ノ庄村、昭和 26 年に川辺村、昭和 30 年に摩気村と西本梅村を編入しました。
- ・また、昭和 33 年には、昭和 31 年に亀岡市に編入された東本梅村のうち、南大谷の一部と若森を編入し、園部町となりました。

【旧八木町】

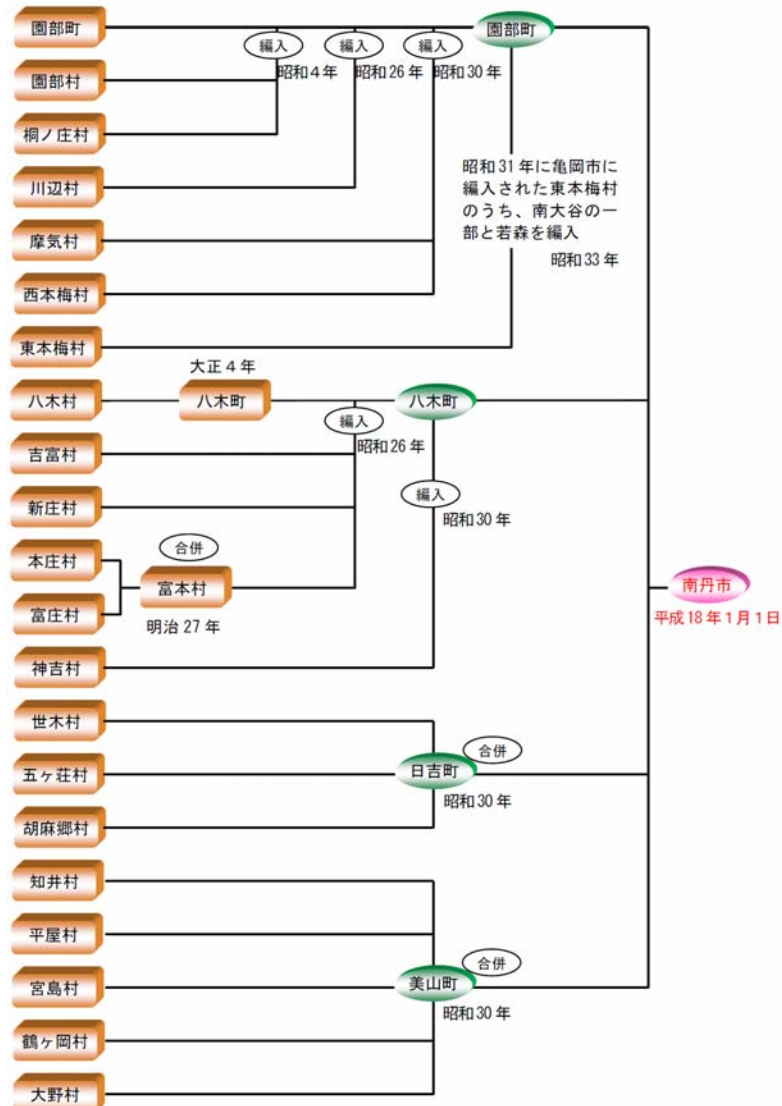
- ・大正 4 年に八木村が八木町となり、昭和 26 年に、吉富村、新庄村、富本村（明治 27 年に本庄村と富庄村が合併）を編入しました。
- ・また、昭和 30 年には、神吉村を編入し、八木町となりました。

【旧日吉町】

- ・昭和 30 年に、世木村、五ヶ荘村、胡麻郷村の 3 村が合併し、日吉町となりました。

【旧美山町】

- ・昭和 30 年に、知井村、平屋村、宮島村、鶴ヶ岡村、大野村の 5 村が合併し、美山町となりました。



■ 市町村合併の経緯 ■

② 文化財

本市は、丹波国の政治・文化の中心地として栄えてきたため、古代の遺跡や神社、寺院、民俗文化財等、多数の文化財、文化遺産があります。特に、かやぶきの里は、伝統的な技法とともに継承された歴史景観が評価され、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

■ 指定文化財一覧（国・府） ■

指定区分	図番号	文化財の名称	所在地	
国指定重要文化財	建造物	1 九品寺大門 附 棟札1枚、扁額1面	園部町船阪	
		2 普濟寺仏殿	園部町若森	
		3 春日神社本殿	園部町高屋	
		4 大山祇神社本殿 附 型板12枚	園部町大河内	
		5 石田家住宅 附 祈禱札	美山町檜原	
		6 小林家住宅主屋・小屋・土蔵 附露地門、高塀他	美山町下平屋	
	美術 工芸品	京都府垣内古墳出土品	園部町小桜町	
		木造阿弥陀如来及び両脇侍坐像	美山町下平屋	
国指定名勝	7	瑠璃溪	園部町大河内	
国指定重要無形民俗文化財		田原の御田	日吉町田原	
国選定重要伝統的建造物群保存地区	8	南丹市美山町北伝統的建造物群保存地区	美山町北	
国登録有形文化財	建造物	9 ザイラー家住宅主屋	日吉町上胡麻	
		10 ザイラー家住宅音楽堂	日吉町上胡麻	
		11 竹澤家住宅主屋	美山町島	
		12 西尾家住宅主屋	美山町島	
		13 旧小山家住宅(田村屋螢庵)主屋	美山町三埜	
		14 旧小山家住宅(田村屋螢庵)土蔵	美山町三埜	
15 旧小山家住宅(田村屋螢庵)庭門及び塀	美山町三埜			
府指定文化財	建造物	16 摩気神社本殿附覆屋1棟・東撰社附覆屋1棟・西撰社附覆屋1棟	園部町竹井	
		17 鹿島神社本殿 附 棟札2枚	園部町殿谷	
		18 生身天満宮本殿 附 棟札3枚、廻廊	園部町美園町	
		19 帝釋天堂	八木町船枝	
		20 春日神社本殿	八木町八木嶋	
		21 八幡神社本殿 附 棟札7枚	美山町北	
	美術 工芸品		黒田古墳出土品	園部町小桜町
			制札	園部町美園町(生身天満宮)
			鱧口	園部町若森(普濟寺)
			木造毘沙門天立像	日吉町中世木(普門院)
			木造金剛力士立像 附 紙本墨書願文4通	美山町静原(歓楽寺)
			絹本著色等榮信倫禪尼像	美山町野添(深見寺)
	無形民俗 文化財		田原のカッコスリ	日吉町田原
			西光寺六斎念仏	八木町美里
天然 記念物	22	朝倉神社のスギ	園部町千妻	
史跡		23 坊田古墳群	八木町柴山	
		24 黒田古墳	園部町黒田・船阪	

■ 指定文化財一覧（府・市） ■

指定区分		図番号	文化財の名称	所在地
府登録文化財	建造物	25	摩気神社絵馬舎、神門、鳥居	園部町竹井
		26	武尾神社本殿	園部町高屋
		27	生身天満宮 拝殿・秋葉社	園部町美園町
		28	住吉神社本殿	八木町西田
		29	荒井神社本殿 附 覆屋1棟	八木町美里
		30	多治神社本殿 附 棟札5枚	日吉町田原
		31	道相神社本殿・拝殿	美山町宮脇
		32	宝泉寺大師堂	美山町小淵
	美術 工芸品		木造懸仏	園部町南大谷(浄光寺)
			懸仏 附 懸仏残欠37個	日吉町中世木(普門院)
			立花図巻	日吉町生畑(如意寺)
	無形民俗 文化財		檜原の田楽	美山町檜原
			牧山の松明行事	日吉町中世木
			盛郷の上げ松	美山町盛郷
			殿の上げ松	美山町鶴ヶ岡
			川合の上げ松	美山町鶴ヶ岡
			芦生の上げ松	美山町芦生
			田歌の神楽	美山町田歌
			諏訪神社の祭礼芸能	美山町鶴ヶ岡
	府文化財環境保全地区		道相神楽	美山町宮脇
		大送神社の綱引き	八木町日置	
33		摩気神社文化財環境保全地区	園部町竹井	
34		八幡神社文化財環境保全地区	美山町北	
35		多治神社文化財環境保全地区	日吉町田原	
36		住吉神社文化財環境保全地区	八木町西田	
37		荒井神社文化財環境保全地区	八木町美里	
38	道相神社文化財環境保全地区	美山町宮脇		
39	生身天満宮文化財環境保全地区	園部町美園町		
市指定文化財	建造物		宝篋印塔	日吉町中世木(普門院)
			五輪塔	
			海老坂宝篋印塔	日吉町四ツ谷(玉岩地藏堂)
			玉岩地藏堂及び庫裡	
			宝篋印塔	日吉町四ツ谷(威音寺)
			安楽寺太鼓槽	八木町北屋賀
			龍興寺鐘楼	八木町八木
			住吉神社本殿	八木町西田
			荒井神社本殿	八木町美里
			宝篋印塔	日吉町四ツ谷(海老谷)
			西光寺本堂	八木町美里
			宝篋印塔	日吉町志和賀(清水寺)
			旧湯浅治氏民家	南丹市日吉町郷土資料館
			東家住宅主屋・小屋	美山町野添
			村田家住宅主屋	美山町島
	諏訪神社本殿・表門	美山町鶴ヶ岡		
	宝泉寺大師堂	美山町小淵		

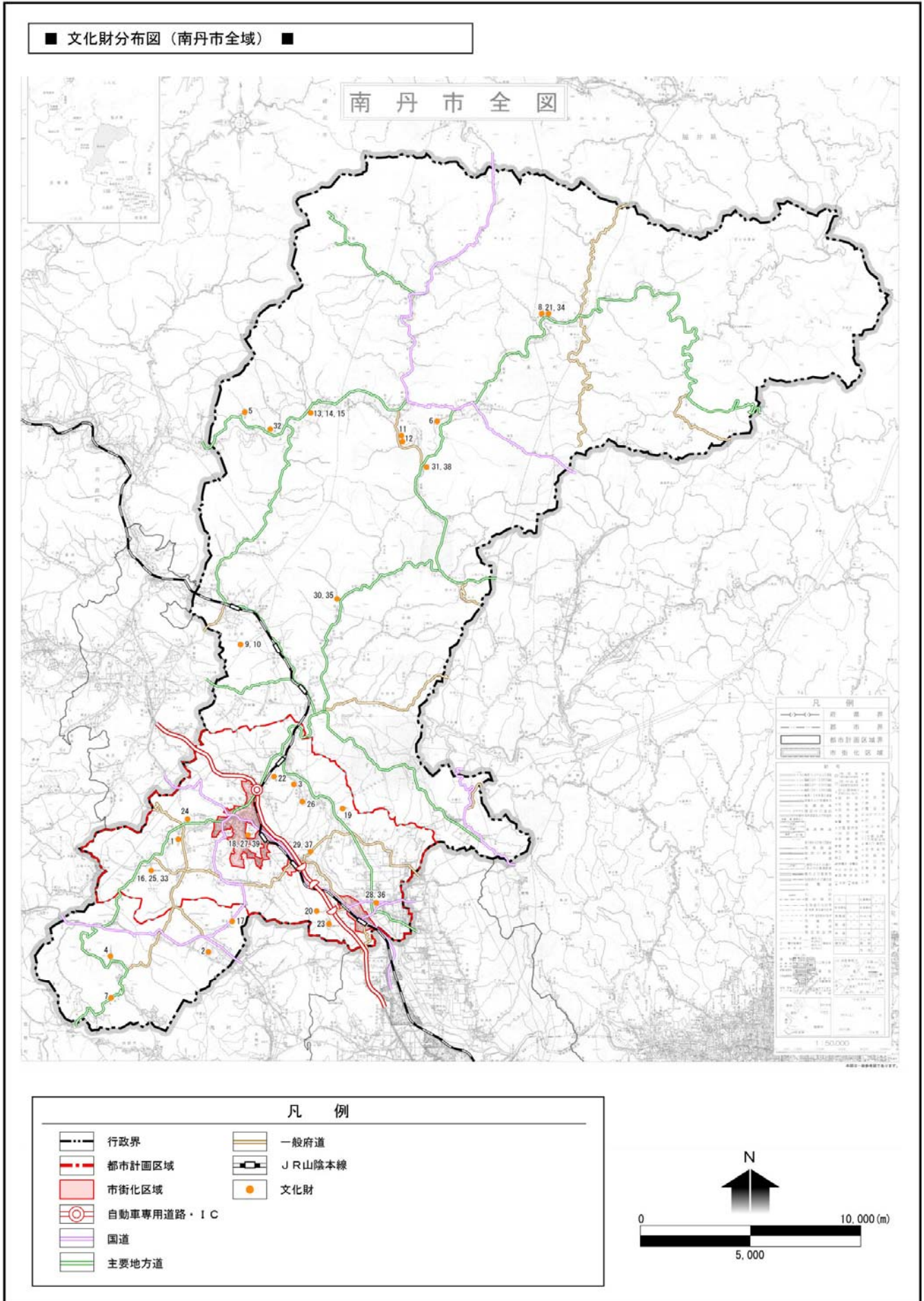
■ 指定文化財一覧（市） ■

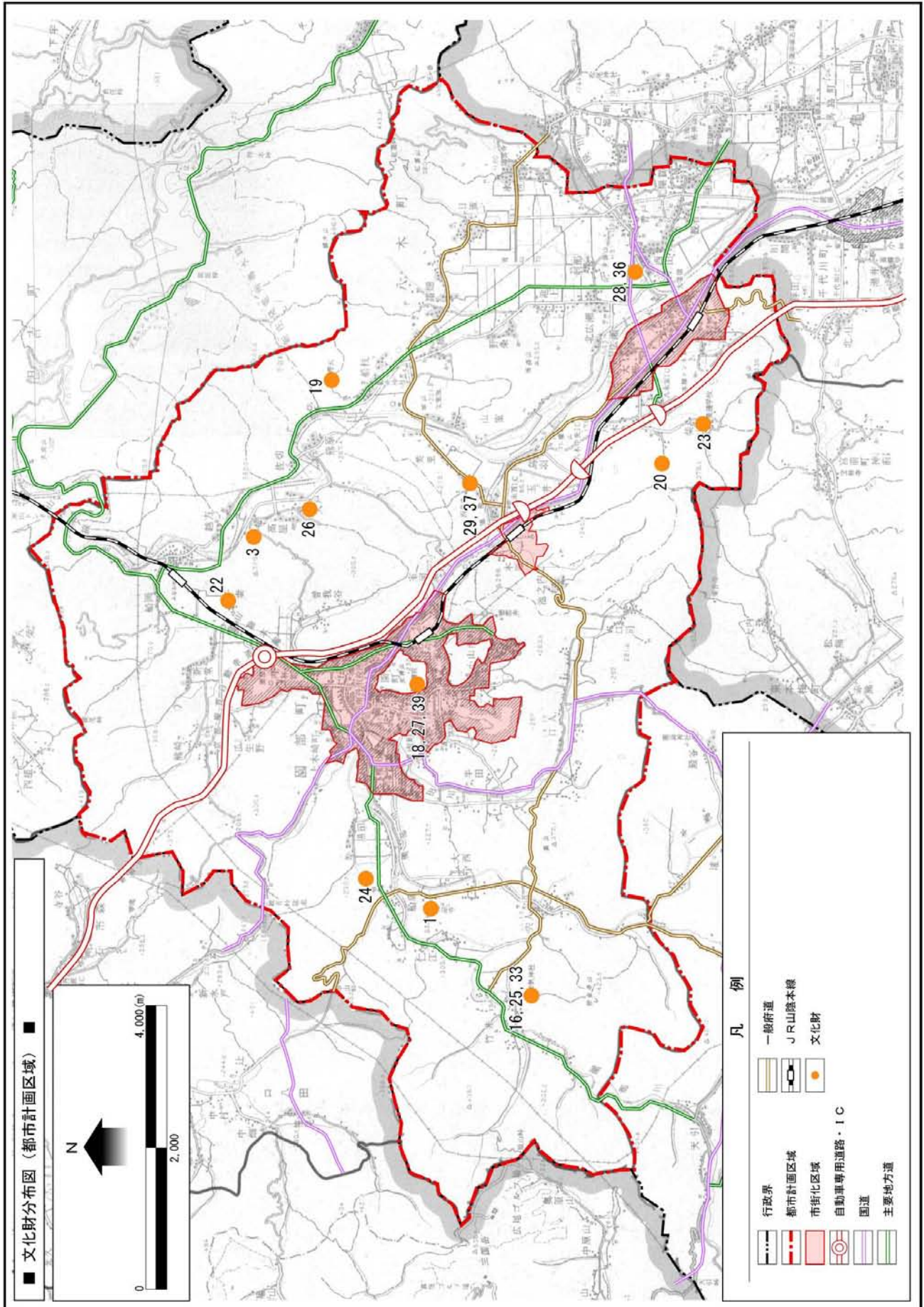
指定区分	図番号	文化財の名称	所在地
市指定文化財	美術 工芸品	十六善神像	日吉町四ツ谷(岡安神社)
		当麻曼荼羅図	日吉町中世木(念佛寺)
		木造千種姫像	園部町若森(普濟寺)
		木造仁王像	園部町船阪(九品寺)
		木造十一面観音菩薩立像	園部町半田(奥西観音堂)
		木造聖観音菩薩立像	園部町横田(浄香寺観音堂)
		木造毘沙門天立像	日吉町殿田(成就院)
		木造薬師如来坐像	
		聖観世音菩薩立像	日吉町中世木(普門院)
		木造懸仏	
		銅鏡	日吉町殿田
		観音像	
		石造薬師如来坐像	日吉町四ツ谷(威音寺)
		木造懸仏(十一面観音・如来坐像)	
		銅製懸仏(大日如来像)	日吉町中世木 (宝勝寺・念佛寺)
		木造多聞天立像及び木造広目天立像	
		木造十一面観世音菩薩立像	日吉町四ツ谷(玉岩地藏堂)
		鰐口	
		石造玉岩地藏尊	日吉町生畑(如意寺)
		鰐口	
		木造地藏菩薩坐像	
		木造毘沙門天立像	
		木造不動明王立像	
		木造女神坐像	
		鰐口	
		木造懸仏	
		銅鏡	
		大般若経	
		版本五部大乘経	日吉町佐々江(安楽寺)
		木造薬師如来坐像	
		木造四天王立像	日吉町佐々江
		木造毘沙門天立像	
		木造地藏菩薩立像	八木町船枝(福寿寺)
		木造増長天立像	
		木造多聞天立像	八木町諸畑(政徳寺)
		木造大日如来坐像	
		木造釈迦如来坐像	八木町神吉(神留寺)
		木造木喰仏像	
		木造木喰仏像	八木町諸畑(清源寺)
		木造木喰仏像	
		木造十一面観音菩薩立像	八木町池上(池上院)
木造聖観音菩薩立像			
木造薬師如来坐像	美山町上司(本妙寺)		
木造釈迦如来坐像	美山町鶴ヶ岡(法明寺)		
木造地藏菩薩立像			
木造薬師如来坐像	美山町盛郷		
木造月光菩薩立像			

■ 指定文化財一覧（市） ■

指定区分		図番号	文化財の名称	所在地
市指定文化財	美術 工芸品		木造大日如来坐像	美山町三埜(行福寺)
			木造阿弥陀如来像	美山町内久保(光瑞寺)
			木造阿弥陀如来像	美山町長谷(泉龍寺)
			木造地藏菩薩半跏像	美山町和泉(栄久院)
			木造川勝光照像	美山町静原(光照寺)
			木造阿弥陀如来座像	園部町高屋(禅福寺)
			梵鐘	日吉町四ツ谷(寶林寺)
			鱧口	美山町北(八幡神社)
	有形民俗 文化財		多治神社の御輿	日吉町田原
	無形民俗 文化財		牧山の松明行事	日吉町中世木
			胡麻日吉神社の馬馳け	日吉町胡麻
	史跡		塩貝城跡	日吉町上胡麻
	天然 記念物		知見正法寺のイチョウ	美山町知見
			北八幡神社のスギ	美山町北
			北稻荷神社のトチ	美山町北
			宮脇道相神社のカヤ	美山町宮脇
			静原光照寺のヤマザクラ	美山町静原
			諏訪神社のスギ	美山町鶴ヶ岡
			松尾鈴波神社のスギ	美山町豊郷
			三埜菅原神社のスギ	美山町三埜
	小笹尾大川神社のスギ	美山町三埜		

※国・府の文化財のうち建造物と史跡、天然記念物を図に記載。

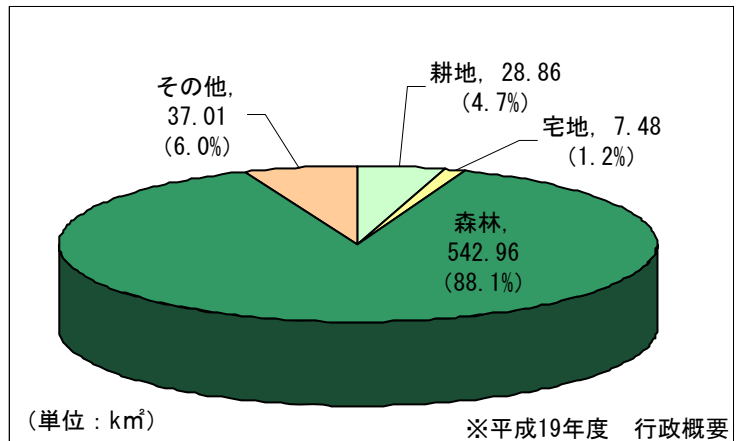




(3) 土地利用

① 土地利用概況

本市の土地利用は、森林が最も多く88.1%、次いで耕地(4.7%)、宅地(1.2%)の順となっています。



都市計画区域に限っても、山林が65.7%を占めており、自然的土地利用の合計では87.2%となっています。

市街化区域内については、都市的土地利用が69.1%となっていますが、農地も18.8%残されており、特に八木町では44.3%を農地が占めています。

■ 土地利用別面積 (都市計画区域) ■

面積 (ha)、合計の下段は構成比 (%)

都市名	市街地区分	自然的土地利用					計	都市的土地利用						計	合計
		農地	山地	森林	水面	その他の自然		宅地	公共・公益用地	道路用地	交通施設用地	その他の公的施設用地	その他空地		
園部町 (H14)	市街化区域	43.6	30.6	12.1	14.8	101.1	127.7	94.1	57.2	3.3	0.0	19.8	302.1	403.2	
		10.8	7.6	3.0	3.7	25.1	31.7	23.3	14.2	0.8	0.0	4.9	74.9	100.0	
	市街化調整区域	742.7	4,475.7	89.9	90.2	5,398.5	182.4	50.0	159.2	39.7	0.3	11.7	443.3	5,841.8	
		12.7	76.6	1.5	1.5	92.4	3.1	0.9	2.7	0.7	0.0	0.2	7.6	100.0	
都市計画区域	786.3	4,506.3	102.0	105.0	5,499.6	310.1	144.1	216.4	43.0	0.3	31.5	745.4	6,245.0		
	12.6	72.2	1.6	1.7	88.1	5.0	2.3	3.5	0.7	0.0	0.5	11.9	100.0		
八木町 (H15)	市街化区域	56.3	0.6	1.1	4.7	62.7	37.1	9.3	9.9	1.7	0.0	6.4	64.3	127.0	
		44.3	0.5	0.9	3.7	49.3	29.2	7.3	7.8	1.3	0.0	5.0	50.7	100.0	
	市街化調整区域	854.5	1,760.5	92.9	52.0	2,759.9	189.0	60.4	122.4	3.3	0.0	35.1	410.1	3,170.0	
		27.0	55.5	2.9	1.6	87.1	6.0	1.9	3.9	0.1	0.0	1.1	12.9	100.0	
都市計画区域	910.8	1,761.1	94.0	56.7	2,822.5	226.1	69.7	132.3	5.0	0.0	41.4	474.5	3,297.0		
	27.6	53.4	2.9	1.7	85.6	6.9	2.1	4.0	0.2	0.0	1.3	14.4	100.0		
南丹市	市街化区域	99.9	31.2	13.2	19.5	163.8	164.8	103.4	67.1	5.0	0.0	26.2	366.4	530.2	
		18.8	5.9	2.5	3.7	30.9	31.1	19.5	12.6	0.9	0.0	4.9	69.1	100.0	
	市街化調整区域	1,597.2	6,236.2	182.8	142.2	8,158.4	371.4	110.4	281.6	43.0	0.3	46.8	853.4	9,011.8	
		17.7	69.2	2.0	1.6	90.5	4.1	1.2	3.1	0.5	0.0	0.5	9.5	100.0	
都市計画区域	1,697.1	6,267.4	196.0	161.7	8,322.1	536.2	213.8	348.7	48.0	0.3	72.9	1,219.9	9,542.0		
	17.8	65.7	2.1	1.7	87.2	5.6	2.2	3.7	0.5	0.0	0.8	12.8	100.0		

(資料：都市計画基礎調査)

※都市計画基礎調査での集計値のため、決定値とは一致しない

② 法適用状況

本市には、南丹都市計画区域が指定されており、土地利用の適正な誘導が行われています。
 また、平坦部の大半は農業振興地域に指定され、計画的な農業投資が進められています。
 市域の大部分を占める森林のほとんどは、地域森林計画対象民有林となっています。これら
 の他、災害防止等のため各種の法制度が適用されています。

■ 法適用状況 ■

名称等	根拠法	適用状況	
南丹都市計画区域	都市計画法	9,415ha	市街化区域：566ha 市街化調整区域：8,849ha
農業振興地域	農業振興地域の整備に関する法律	7,457ha	農用地区域：2,379ha
地域森林計画対象民有林	森林法	54,173ha	
保安林	森林法	18,776ha	
砂防指定地	砂防法	165箇所（2,140.46ha）	
急傾斜地崩壊危険区域	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	12箇所（11.62ha）	

■ 用途地域の指定状況 ■

	第一種低層住居専用地域	第二種低層住居専用地域	第一種中高層居住専用地域	第二種中高層居住専用地域	第一種住居地域	第二種住居地域
南 丹	165.1 ha	1.6 ha	49.1 ha	32.4 ha	174.7 ha	58.2 ha
	近隣商業地域	準工業地域	工業地域	合計	最終決定年月日	
南 丹	22.3 ha	55.7 ha	6.6 ha	565.7 ha	H19.11/13	

(4) 交通体系

① 主要道路交通量

本市の主要道路の交通量は、平成11年から17年にかけて一部道路整備等の影響によって減少している箇所もみられますが、全路線の合計では1.03倍程度に増加しています。(伸び率は観測区間のみを対象として算出)

■ 主要道路交通量(平日12時間交通量(国道)) ■

区間 番号	路線名	観測地点	12時間交通量 (台)		伸び率 (H17/H11)
			H11※	H17	
1008	一般国道9号	南丹市八木町大藪町	14,823	13,884	0.94
1009	一般国道9号	南丹市八木町玉ノ井両ヶ谷	14,578	14,315	0.98
1010	一般国道9号	南丹市園部町小山東町	13,835	12,776	0.92
1047	一般国道162号	南丹市美山町安掛	—	2,251	—
1048	一般国道162号	南丹市美山町鶴ヶ岡橋戸10	—	1,386	—
1103	一般国道372号	南丹市園部町南八田縄手37	2,181	2,364	1.08
1104	一般国道372号	南丹市園部町天引向井山27-1	2,536	2,878	1.13
1109	一般国道477号	南丹市八木町神吉中尾21	1,007	557	0.55
1110	一般国道477号	南丹市八木町西田北条63	2,423	1,790	0.74
1111	一般国道477号	南丹市八木町八木鹿草45	6,468	6,871	1.06
1112	一般国道477号	南丹市園部町横田1号15	—	6,672	—
1113	一般国道477号	南丹市園部町半田裏上60	581	283	0.49
11114	一般国道478号 (京都丹波道路)	千代川IC~八木東IC間	7,867	9,148	1.16
11115	一般国道478号 (京都丹波道路)	八木東IC~八木中IC間	7,711	8,995	1.17
11116	一般国道478号 (京都丹波道路)	八木中IC~八木西IC間	7,629	9,141	1.20
11117	一般国道478号 (京都丹波道路)	八木西IC~園部IC間	6,556	7,923	1.21
11118	一般国道478号 (京都丹波道路)	園部IC~丹波IC間	6,166	7,254	1.18

(出典：H17道路交通センサス(観測区間のみを掲載))

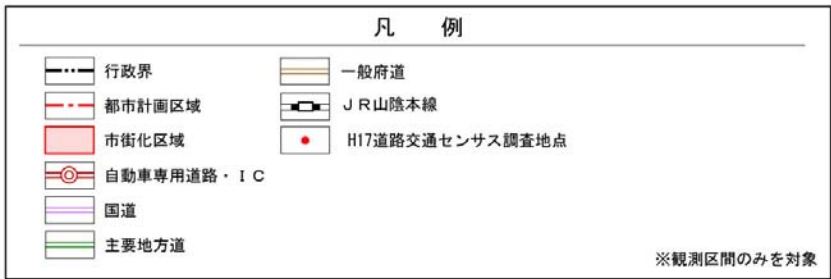
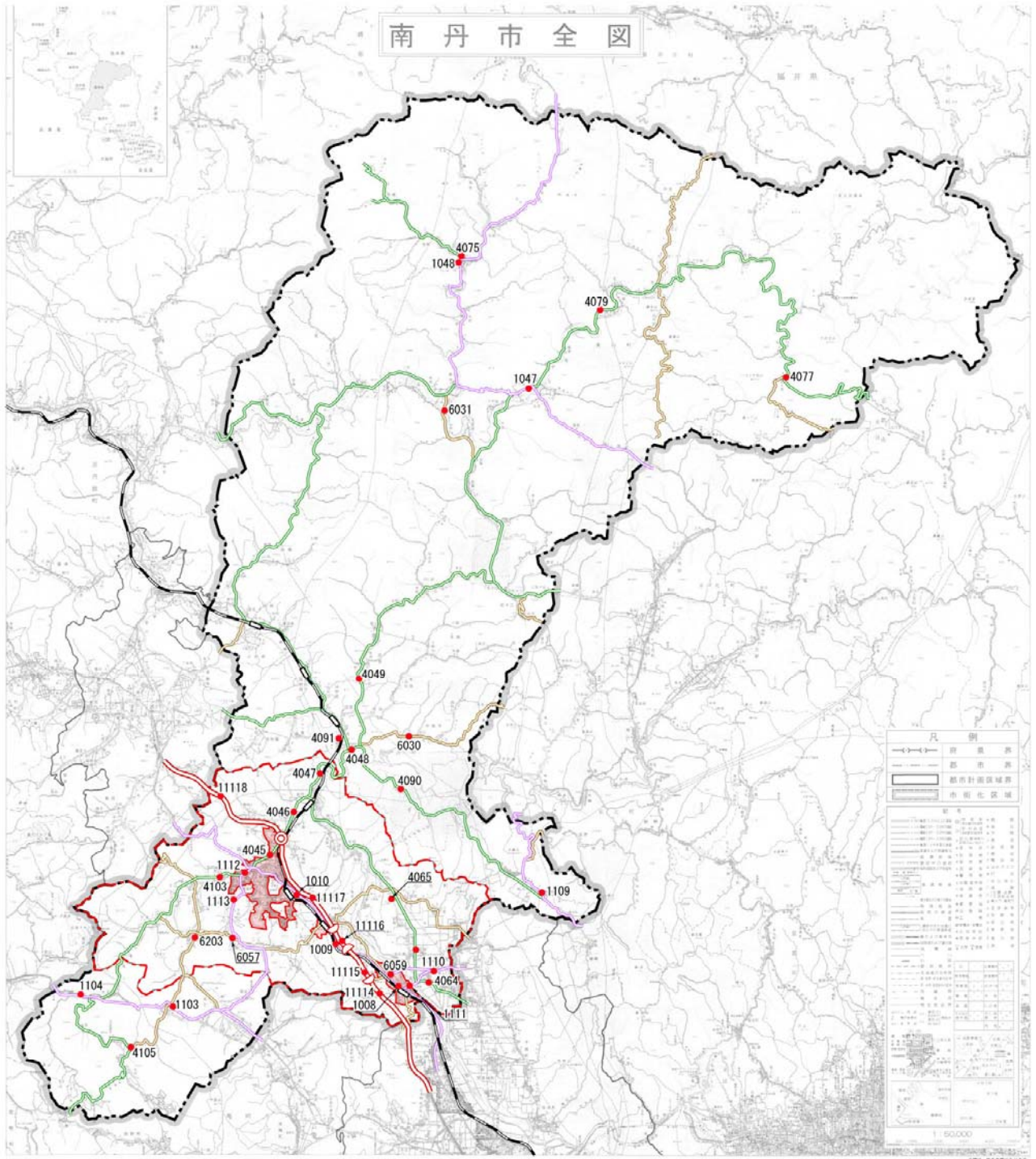
※H11はH17と観測地点が同じ路線のみを掲載

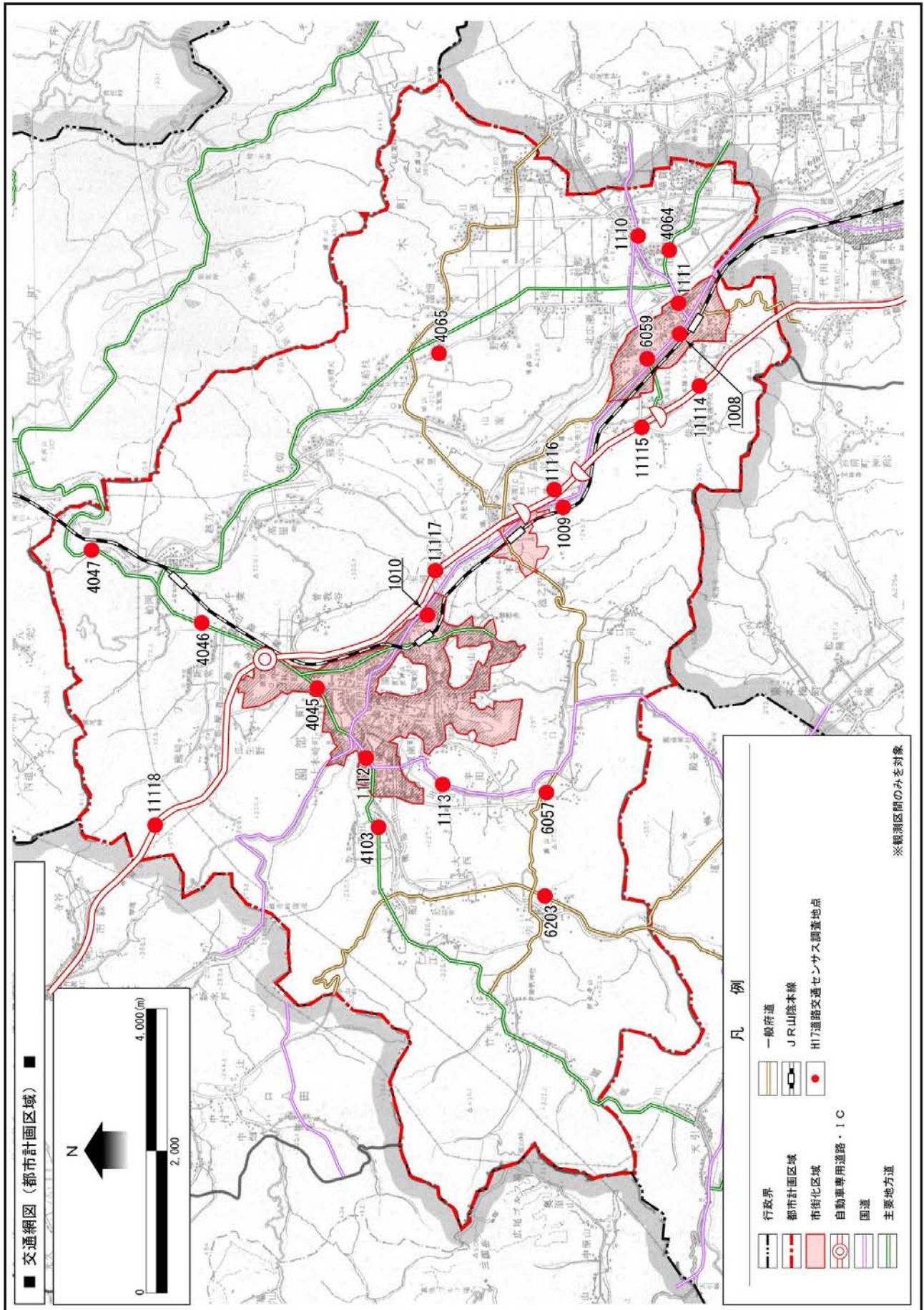
■ 主要道路交通量（平日12時間交通量（主要地方道・一般府道）） ■

区間 番号	路線名	観測地点	12時間交通量 (台)		伸び率 (H17/H11)
			H11	H17	
4045	園部平屋線	南丹市園部町内林樋口 5	7,032	7,396	1.05
4046	園部平屋線	南丹市園部町千妻マカリ 12-1	—	7,338	—
4047	園部平屋線	南丹市園部町船岡棚田 5	6,106	6,470	1.06
4048	園部平屋線	南丹市日吉町殿田向山 30	—	2,992	—
4049	園部平屋線	南丹市日吉町田原新シ 9-1	—	3,383	—
4064	亀岡園部線	南丹市八木町西田南条	—	2,488	—
4065	亀岡園部線	南丹市八木町室橋東垣内 21	—	2,963	—
4075	綾部美山線	南丹市美山町鶴ヶ岡コモウ谷 1-1	561	451	0.80
4077	京都広河原美山線	南丹市美山町佐々里西保 4	—	52	—
4079	京都広河原美山線	南丹市美山町内久保丁田頭 30	—	1,417	—
4090	京都日吉美山線	南丹市日吉町天若上ノ所 22	—	539	—
4091	京都日吉美山線	南丹市日吉町殿田東小牧 21-5	—	3,708	—
4103	園部能勢線	南丹市園部町黒田 3号 17	—	4,219	—
4105	園部能勢線	南丹市園部町大河内関 84	—	166	—
6030	中地日吉線	南丹市日吉町中世木日吉前 16	—	217	—
6031	和泉宮脇線	南丹市美山町和泉狐岩 4	—	1,883	—
6203	大河内口八田線	南丹市園部町穴人市場 69	2,765	2,079	0.75
6057	竹井室河原線	南丹市園部町半田安谷 70	—	602	—
6059	八木東インター線	南丹市八木町八木嶋	—	1,347	—

(出典：H17 道路交通センサス（観測区間のみを掲載）)

■ 交通網図（南丹市全域） ■





② 公共交通機関

本市には、鉄道は南東の京都市から北西にかけてJR山陰本線が走っており、7つの駅が開設されています。乗車人員は平成18年度までは増加傾向にありましたが、その後減少に転じており、平成21年度には市内で2,755千人となっています。平成22年にJR山陰本線京都～園部間の完全複線化が実施されており、今後利便性の向上と乗車人員の増加が期待されます。

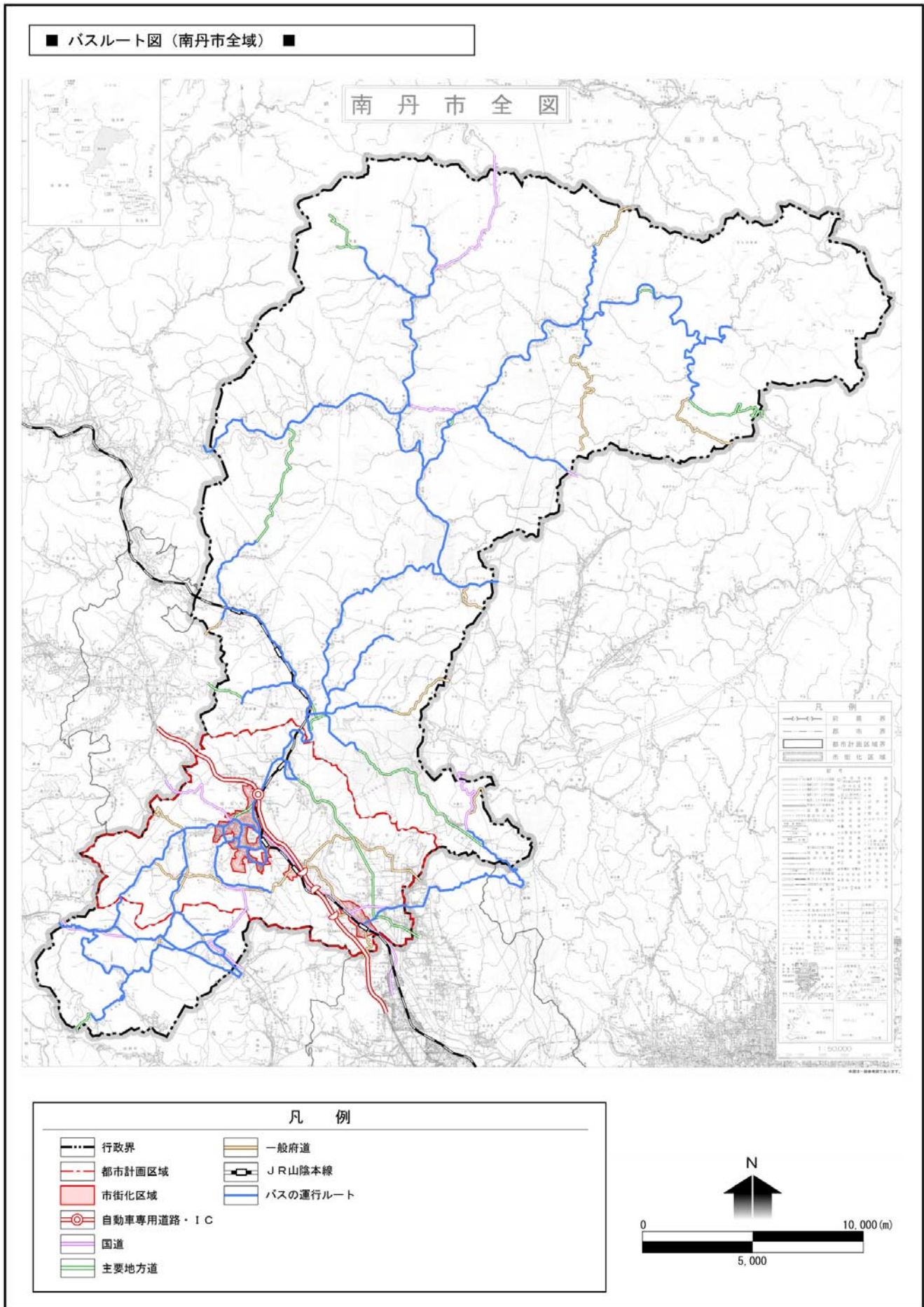
バス交通は、市営バスがスクールバスの一般混乗や地域への委託方式も一部取り入れながら16路線を、園部、八木地域では民間バス会社が3路線を運行しています。また、園部地域では民間事業者への委託によって、コミュニティバス、スクールバス（通称ぐるりんバス）3路線の運行を行っています。

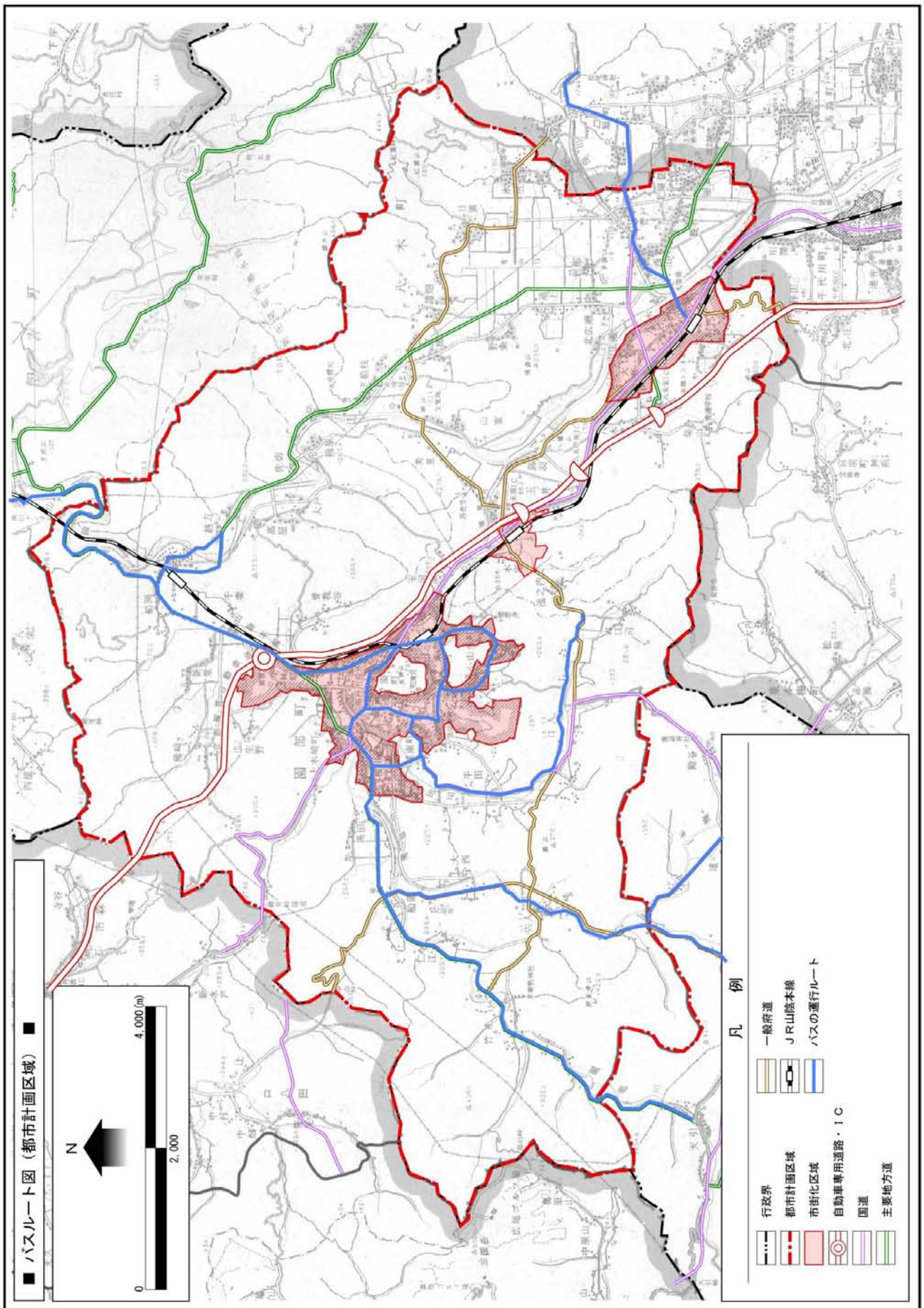
■ JR山陰本線の乗車人員の推移（単位：千人） ■

駅名	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
八木	606	625	607	597	595	578
吉富	66	74	119	151	141	142
園部	1,617	1,668	1,677	1,638	1,639	1,611
船岡	21	22	22	24	22	22
日吉	134	138	137	128	120	120
鍼灸大学前	121	122	135	141	154	155
胡麻	145	143	146	134	128	127
南丹市 計	2,710	2,792	2,843	2,813	2,799	2,755

■ バス路線名一覧 ■

路線名	起点	終点	路線名	起点	終点
五ヶ荘線	日吉駅	上佐々江	芦生線	出合	芦生
世木線	日吉駅	日吉山の家	福居線	丹波福居	鶴ヶ岡
		上谷	河内谷線	知見口	河内谷
胡麻・志和賀線	日吉駅	畑郷	川谷線	大野	川谷
日吉ダム線	日吉駅	府民の森 ひよし	美山園部線 (日曜・祝日便)	園部駅	静原 かやぶきの里
京北線 (日曜・祝日便)	周山	鶴ヶ岡	神吉線	八木駅前	神吉上
	周山	かやぶきの里	西本梅スクール 癒しの森線	南八田	南八田 るり溪温泉
知井線	知見口	静原	摩気スクール 園部東部線	口司	園部駅西口
大野線	和知駅	静原			船岡駅
宮島線	原	静原	市街地循環線	園部駅西口	園部駅西口
鶴ヶ岡線	洞	静原	八田線	亀岡駅	園部駅西口
佐々里線	知見口	佐々里	園篠線	篠山市福住	
知見線	知見口	知見			





(5)都市施設整備状況

① 都市計画道路

本市には、都市計画道路が22路線指定されており、整備率は68.9%となっています。

■ 都市計画道路の整備状況 ■

路線番号	路線名	計画幅員 (m)	計画延長 (km)	整備済延長 (km)	改良率 (%)
1・4・1	京都丹波線	19・20.5	12.52	12.52	100.0
3・4・2	新国道線	16	2.79	0	0
3・4・13	八木環状線	16～17	3.82	0.42	11.0
3・4・14	八木中央線	16	0.65	0.08	12.3
3・4・15	大藪線	16	0.19	0.19	100.0
3・4・16	河原町内林線	16	2.28	2.28	100.0
3・4・17	内林小山東町線	16	1.96	1.96	100.0
3・4・18	横田小山東町線	16	3.16	3.16	100.0
3・5・19	河原町横田線	12	0.93	0.93	100.0
3・4・20	内環状線	19	0.96	0.44	45.8
3・4・21	美園栄町線	16	0.74	0	0
3・4・22	上木崎本町線	16	0.40	0	0
3・4・29	本町新町線	16	0.20	0	0
3・4・23	新町木崎線	16	0.42	0	0
3・4・27	栄小山東町線	16	2.19	0	0
3・5・202	木崎町線	12	0.26	0	0
3・5・203	横田園部公園線	12	1.03	1.03	100.0
3・5・204	木崎本町線	12	0.79	0.79	100.0
3・5・205	上本町線	12	0.15	0	0
3・5・206	上本町佛大線	12・30	1.16	1.01	87.1
3・5・207	京都光悦線	14	1.01	1.01	100.0
3・5・301	北広瀬八木島線	12	1.43	1.07	74.8
合計			39.04	26.89	68.9

② 公園・緑地

本市の都市計画公園の現況は、街区公園 16 ヶ所、近隣公園 1 ヶ所、総合公園 1 ヶ所が都市計画決定されており、99.6%の供用率となっています。その他、桂川（大堰川）の水辺環境を活用した緑地 1 ヶ所が都市計画決定されており、親水機能やレクリエーション機能の充実を目指した整備が進められています。

■ 都市計画公園・緑地の整備状況 ■

公園番号	種別	名称	計画面積 (ha)	供用面積 (ha)	供用率 (%)
2.2.101	街区	木崎町公園 <small>きざきまち</small>	0.69	0.69	100.0
2.2.102	街区	城南町公園 <small>じょうなんまち</small>	0.27	0.27	100.0
2.2.103	街区	小山西町公園 <small>おやまにしまち</small>	0.30	0.30	100.0
2.2.105	街区	上木崎町公園 <small>かみざきまち</small>	0.20	0.20	100.0
2.2.106	街区	横田 1 号公園 <small>よこた</small>	0.20	0.20	100.0
2.2.107	街区	横田 2 号公園 <small>よこた</small>	0.20	0.20	100.0
2.2.108	街区	横田 3 号公園 <small>よこた</small>	0.15	0.15	100.0
2.2.109	街区	横田 4 号公園 <small>よこた</small>	0.62	0.62	100.0
2.2.110	街区	横田 5 号公園 <small>よこた</small>	0.20	0.20	100.0
2.2.111	街区	小山東町 1 号公園 <small>おやまひがしまち</small>	0.89	0.89	100.0
2.2.112	街区	二本松公園 <small>にほんまつ</small>	0.29	0.29	100.0
2.2.113	街区	内林町 1 号公園 <small>うちばやしまち</small>	0.27	0.27	100.0
2.2.114	街区	内林町 2 号公園 <small>うちばやしまち</small>	0.10	0.00	0.0
2.2.115	街区	内林町 3 号公園 <small>うちばやしまち</small>	0.22	0.22	100.0
2.2.116	街区	内林町 4 号公園 <small>うちばやしまち</small>	0.10	0.10	100.0
	街区	八木東公園 <small>やぎひがし</small>	0.36	0.36	100.0
街区公園小計		(16 箇所)	5.06	4.96	98.0
3.3.101	近隣	健楽憩の園 <small>たのしそ</small>	2.30	2.30	100.0
近隣公園小計		(1 箇所)	2.30	2.30	100.0
住区基幹公園小計		(17 箇所)	7.36	7.26	98.6
5.5.1	総合	園部公園 <small>そのべ</small>	19.00	19.00	100.0
都市基幹公園小計		(1 箇所)	19.00	19.00	100.0
都市計画公園合計		(18 箇所)	26.36	26.26	99.6
	緑地	第 1 号大堰川緑地 <small>おおいがわ</small>	14.20	5.24	36.9
緑地合計		(1 箇所)	14.20	5.24	36.9
都市計画公園・ 緑地合計		(19 箇所)	40.56	31.50	77.7

③ 下水道

本市では、公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水事業により下水道の整備が進められ、水洗化率が最も高いのが園部地区で74.4%となっています。

■ 下水道の整備状況 ■

	排水計画人口			人口普及率 (%)	水洗化率 (%)
	公共下水道	特定環境保全 公共下水道	農業集落排水 事業		
園部地区	17,500	4,000	3,300	97.7	74.4
八木地区	13,889	1,450	850	73.1	66.2
日吉地区	-	3,580	2,280	94.9	72.6
美山地区	-	-	4,010	79.7	59.5
計	31,389	9,030	10,440	88.8	72.3

④ 市街地開発事業

本市では、土地区画整理事業として横田地区、小山東町が完了し、内林町地区、本町地区の2ヶ所が実施中で、区域の面積は86.3haであり、市街化区域の1.5%にあたります。

■ 土地区画整理事業実施状況 ■

地区名	都市計画決定面積 (ha)	施行済面積 (ha)
横田地区	43.5	43.5
小山東町地区	17.3	17.3
内林町地区	23.0	20.8
本町地区	2.5	0.4

⑤ 都市下水路

本市では、八木地区で2本の都市下水路が計画されており、いずれも整備が完了しています。

■ 都市下水路の整備状況 ■

	都市施設名称	整備状況
八木地区	新田川都市下水路	整備済
	生津川都市下水路	整備済

⑥ 地区計画

本市では、7ヶ所の地区計画が指定されています。

■ 地区計画の指定状況 ■

	地区名	面積	地区計画のねらい	最終決定年月日
園部地区	横田地区	45.4ha	住居系と工業系の調和	H 5. 9/24
	小山東町向河原地区	5.1ha	住宅地、業務地として良好で合理的な市街地の形成	H12. 6/ 9
	小山東町地区	17.2ha	周辺自然環境と調和のとれた居住環境の規制・誘導	H12.12/22
	新町地区	1.6ha	幹線道路沿道にふさわしい土地利用の誘導	H12. 6/ 9
	内林町地区	21.7ha	良好な住環境の維持・増進	H15. 8/29
	本町地区	2.0ha	地域の核となる個性豊かで魅力ある商業業務空間・ゆとりある生活空間の形成	H19. 4/10
八木地区	吉富駅周辺地区	35.2ha	健全でにぎわいのある市街地の形成	H19.11/13

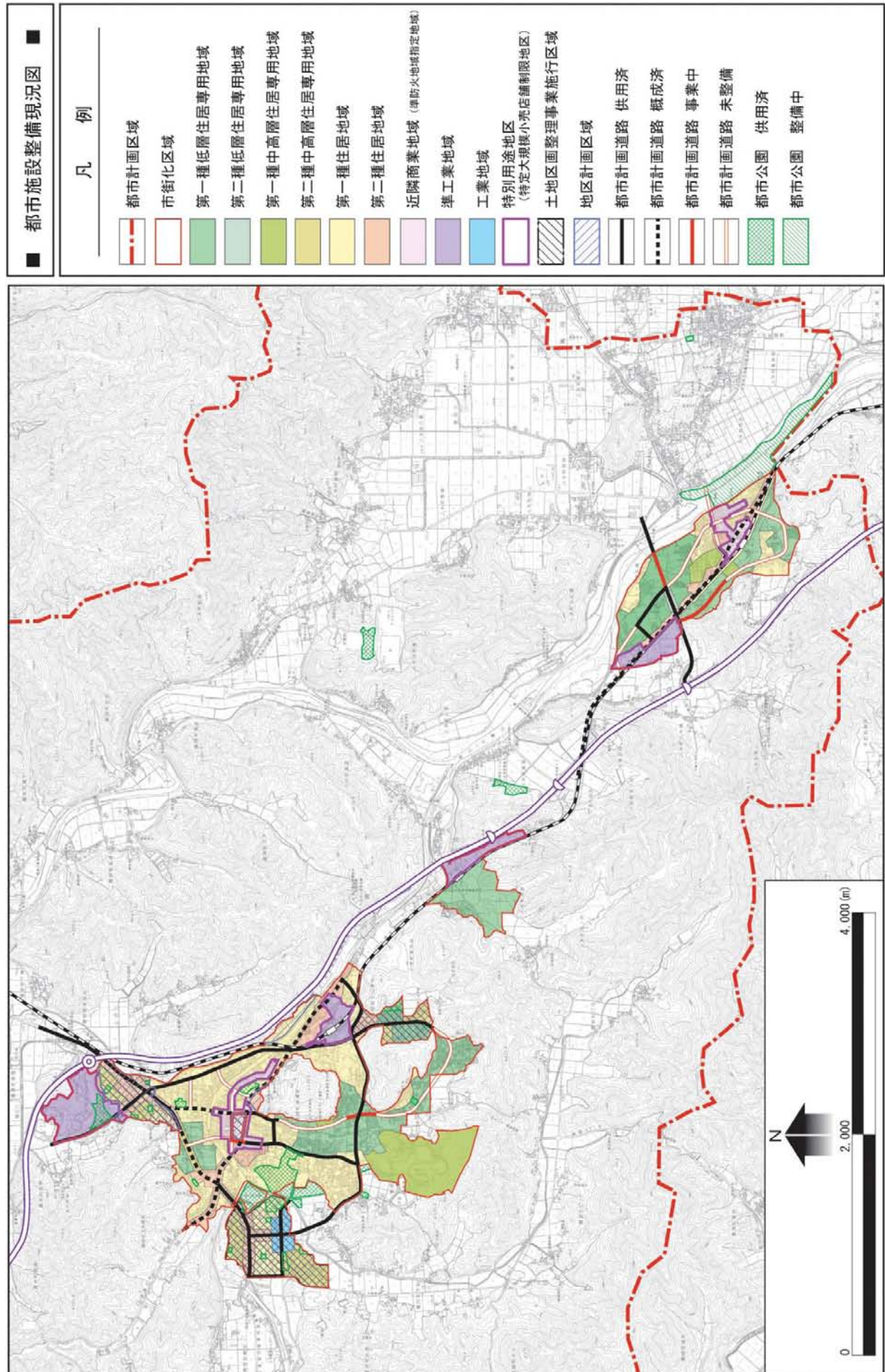
⑦ その他都市計画

本市では、八木地区でごみ焼却場が整備されています。

■ 都市施設の整備状況 ■

	都市施設名称	整備状況
八木地区	船井衛生管理組合ごみ焼却場	整備済

※平成16年度から休止中。



2. 上位・関連計画

① 南丹地域振興計画（H17. 3）

<p>南丹地域の ビジョン</p>	<p>「温(こ)知(しん)」によるほんものの豊かさを感じられる地域づくり</p>
<p>地域づくりの視点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の個性・多様性を伸ばす地域づくり ・世界・日本に発信する地域づくり ・さまざまな主体の協働による地域づくり ・環境に配慮した持続可能な地域づくり ・広域振興局における総合力・実行力・持続力の発揮
<p>5つの実践プラン</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「これであんしん！危機に強く安全安心な南丹地域」プラン 住民の自助活動やさまざまな主体の協働等により安全安心な地域づくりを進める 2. 「きらきら光る！よいとこ自慢の観光振興」プラン さまざまな主体の協働により、広域観光推進体制づくりや地域資源の発掘・創造等を進める 3. 「耕せ！農の力、育め！森の元気」プラン 生産面のみならず、農林業の持つ多面的な機能が発揮される豊かで活力ある地域づくりを進める 4. 「ずっと住みたい！ふるさと発展基盤づくり」プラン 行財政の効率化が求められる中、多様な連携により無駄を省きながら、地域を支える基盤づくりを進める 5. 「みんなが主役！私たちの地域づくり」プラン 住民自らの手による取組を中心に「住みやすい、住み続けたい」地域づくりを進める

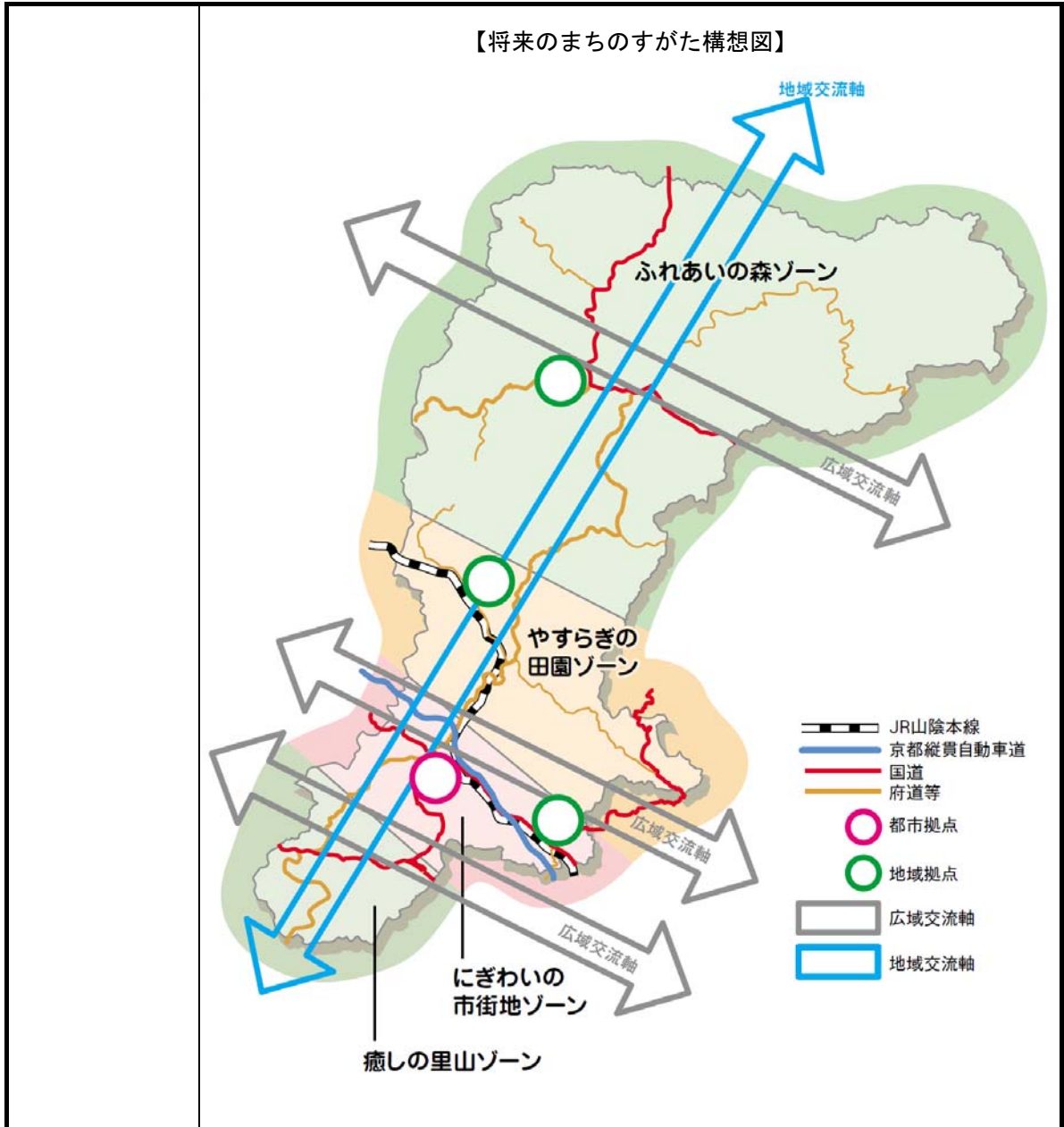
② 南丹都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（H19. 11）

<p>都市づくりの 基本理念</p>	<p>①中心市街地の賑わいと活力基盤のある都市づくり ②広域交通網の整備を活かした産業基盤のある自立した都市づくり ③公共交通機関を活かして、都市の中心性を高め、機能的な都市活動ができるコンパクトな都市づくり ④都市基盤等これまでに培ってきた成果を活かした都市づくり ⑤環境への負荷の低減を図る環境にやさしい都市づくり ⑥だれもが安心・安全で健やかに暮らすことができる良好な住宅・住環境のある都市づくり ⑦地域特性や地域資源を活かした個性のある都市づくり ⑧他都市地域との広域的な連携と交流を推進する都市づくり ⑨情報化、国際化の進展に対応できる交流拠点のある都市づくり ⑩住民、民間、行政等の協働による魅力ある地域社会を実現する都市づくり ⑪自然環境や歴史的環境の保全と活用を図り、美しい田園景観のある都市づくり</p>
<p>区域の将来像</p>	<p>◆魅力的な中心市街地のある都市 ◆広域交通網を活かした自立する都市 ◆公共交通機関の利便性を活かした都市 ◆美しい田園景観のある都市</p>
<p>区域区分の設定</p>	<p>有り</p>
<p>10年後の市街化区域の規模と人口</p>	<p>平成12年 76.4千人 平成22年 おおむね81.7千人 1,626ha ＊市街化区域内人口は、保留された人口を含む。 ＊市街地の規模には保留人口フレームに相当する面積は含まない。</p>
<p>土地利用の方針 (抜 粋)</p>	<p>・官公庁施設は、各市の庁舎及びJR園部駅を中心に集積しており、今後もこれらの区域を中心に業務地を形成し、機能の向上を図る。 ・JR山陰本線の馬堀駅、並河駅、千代川駅、八木駅の各周辺地区や南つつじヶ丘近隣センター地区、篠町野条馬場地区、大井町南部地区、園部町本町地区の各地区に、各圏域の日常的需要に対応した商業地の形成を図る。 ・園部町本町地区、JR八木駅周辺地区等の商業・業務地においては、土地区画整理事業や市街地再開発事業等による都市基盤施設の整備を進め、市街地の安全及び利便性を確保して都市機能の集積と土地利用の合理的で健全な高度利用を図る。 ・園部城等の歴史遺産の周辺は、自然環境と一体となった歴史的景観を形成しており、これらの保全を検討する。</p>
<p>都市施設の方針 (抜 粋)</p>	<p>●交通施設 ・広域幹線道路や交通結節点であるJR線の駅前広場や駅へのアクセス道路の整備を進める。 ・観光拠点へのアクセス道路の整備や鉄道駅等と各拠点施設との歩行者、自転車のネットワークの強化を図る。 ・ユニバーサルデザインに配慮し、高齢者や障がいのある人にとっても安心して快適に過ごせるまちづくりを目指す。 ●下水道 ・積極的に都市計画に位置付けることを基本とする。 ・高度処理の導入等により下水道の質的向上を図る。 ・集落排水施設や浄化槽による整備との調整を図り、最適な整備手法を選定する。 ●河川 ・河川流域が本来有している保水・遊水機能の維持・確保を積極的に図る ・総合的な治水対策を河川整備計画等に基づき進める。 ・水辺環境の保全に努めるとともに良好な水辺空間の創出を図る。</p>

<p>市街地開発事業の方針 (抜 粋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的かつ先行的な公共施設の整備を図るとともに、土地区画整理事業等の面的整備事業を推進し、無秩序な市街化の防止に努める。 ・特に、鉄道駅周辺について交通結節点としての機能強化を図るとともに、市街地の特性や公共施設の整備状況に応じた的確な施策を展開する。 ・既成市街地においては、市街地再開発事業等の面的整備事業により防災性の高い、安心・安全な市街地への更新を促進する。 ・新市街地においても、土地区画整理事業等の面的整備事業により計画的な住宅地の供給を推進する。 ・保全すべき農地については、生産緑地地区制度を活用し、都市内の貴重な緑とオープンスペースとして確保する。
<p>自然環境の整備又は保全に関する方針 (抜 粋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こころとからだをはぐくむみどりの保全と創出 ・やすらぎとうるおいを感じるみどりの保全と創出 ・いきものを守り育てるみどりの保全と創出 ・くらしを守るみどりの保全と創出 ・京都らしさを感じるみどりの保全と創出

③ 南丹市総合振興計画（H20. 3）

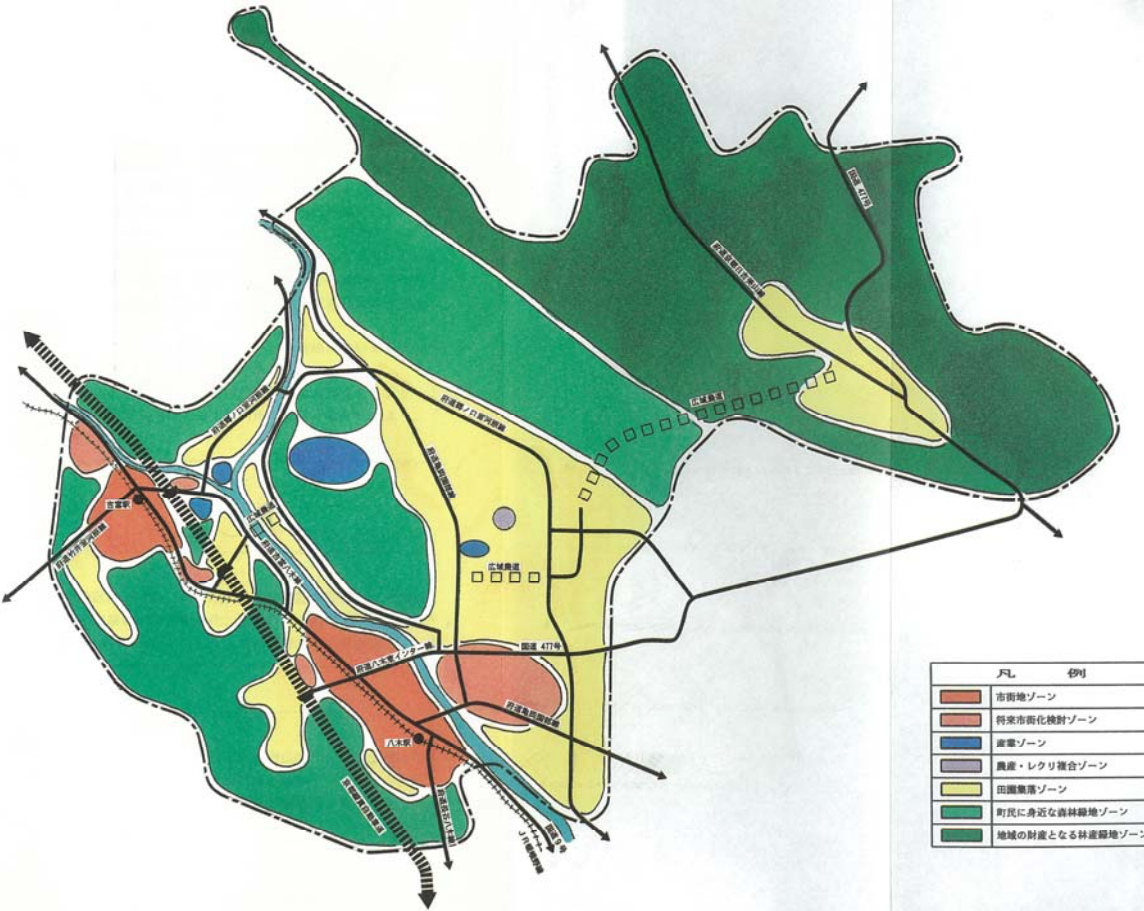
まちづくりの テ ー マ	みんなの笑顔 元気を合わせ 誇りときずなで未来を創る
将来の南丹市の イ メ ー ジ	森・里・街がきらめく ふるさと 南丹市
まちづくりの 基 本 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ●生きがい定住都市構想 ～生涯充実して暮らせる都市を創る～ ●やすらぎの郷構想 ～自然・文化・人を活かした郷を創る～ ●きずなと交流のネットワーク構想 ～人・物・情報を高度につなげる～ ●きらめきパートナーシップ構想 ～共に担うまちづくりの仕組みを築く～
平成 29 年度の 人 口 フ レ ー ム	<p><定住人口> 34,000人</p> <p><交流人口> 250万人</p>
将来のまちの す が た	<p>(1) ゾーン形成</p> <p>【ふれあいの森ゾーン】 豊かな自然環境や、かやぶき民家群などの地域資源を保全し活かしながら、地域おこしを推進し、グリーン・ツーリズムや都市からの移住促進を図ります。また、住民主体による農産物加工販売などを進め、自然とのふれあい豊かな地域整備を進めます。</p> <p>【やすらぎの田園ゾーン】 地域特性を活かした農・畜産ブランド化の推進などの産業振興、スポーツ・健康づくりイベントの推進、学習セミナー活動や文化芸術活動の場づくり、余暇施設の充実などの地域整備を進めます。</p> <p>【にぎわいの市街地ゾーン】 近年、都市圏との時間的距離の短縮により、企業・事業所の進出や高等教育機関の進出がみられます。今後は、企業誘致の推進、地元商業の活性化、JR駅前開発や再開発事業の推進、住宅地整備、上下水道整備などの市街地整備を進めます。</p> <p>【癒しの里山ゾーン】 るり溪高原や温泉施設等を目的とした来訪者の増加があるなか、今後は、四季を通じて楽しめる自然と温泉を活かし、観光とレクリエーションを中心とした地域整備を進めます。</p> <p>(2) 拠点形成 園部の市街地を中心とした地域を「都市拠点」と位置付け、市街地整備によって多様なサービスの集積を図ります。また、八木、日吉、美山地域の暮らしの中心となる地域を「地域拠点」と位置付け、行政サービスと住民活動を支援する機能の集積を図ります。</p> <p>(3) 交流軸形成</p> <p>【広域交流軸】 京都縦貫自動車道、国道9号、162号、372号、477号の広域幹線とJR山陰本線を「広域交流軸」と位置づけ、活発な交流と物流を促すための整備を促進します。</p> <p>【地域交流軸】 市内の主要な府道、市道および広域農道を「地域交流軸」と位置づけ、安全で安心できる道づくりを進め、地域住民の交流を促進します。</p>



④ 園部町都市計画マスタープラン（H15. 3）

<p>都市づくりのテーマ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○広域交通条件を活かした新産業拠点の創出 ○魅力と活力にあふれた商業拠点の再生・整備 ○文化・教育・情報施設を活かしたユニークな文化・交流環境の創出 ○少子高齢社会に対応した人々の健康と文化的な生活を保障する住環境の創出 ○身近な自然環境や豊かな歴史資源を活かしたうらおいのある快適な都市環境の創出 ○町民主体のまちづくりの推進
<p>都市づくりの目標（方向性）</p>	<p>自然環境の保全</p> <p>豊かな自然環境は、人々が快適で健康的な暮らしをおくる基盤であり、将来にわたって守り育てていく。</p> <p>都市整備の推進</p> <p>都市計画事業の未整備部分については、今後も引き続き計画的かつ重点的な整備を推進する。 市街地中心部については、中心市街地活性化の取り組みとして土地区画整理事業により、中心市街地整備を積極的に推進する。 JR山陰本線における新駅の設置を要望し、新都市形成を推進する地区として整備を図る。</p> <p>田園環境の保全と育成</p> <p>都市と農村の交流を推進することにより、自然環境と共生する農業・農村地域の保全・育成を推進する。</p>
<p>将来フレーム</p>	<p>平成23年 22,000人</p>
<p>土地利用方針</p>	<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街化区域 都市核ゾーン 新都市機能ゾーン 田園文化ゾーン 森林健康ゾーン 都市計画区域界

⑤ 八木町都市計画マスタープラン（H10）

<p>将 来 像</p>	<p>憩う、集う、きらめく、「詩の郷」八木</p>																
<p>まちづくりの 基本方針</p>	<p>のびやか都市空間 住環境・産業・生活サービスのバランスのとれた市街地規模を想定し、集落地区と強調のもと、適正な土地利用を図っていく。</p> <p>ゆとりの生活空間 災害への安全性や交通環境の充実など、快適な生活の提供を意識したゆとりある基盤を整え、それと連動させながら市街地や集落地の整備を進めていく。</p> <p>いきいき生産活力 農・林・畜産業をはじめ、商工業などの産業の振興・育成を各産業の連携のもとに進めていく。</p> <p>すこやか充実人生 時代背景となる環境との調和、高齢化社会の到来などを考慮し、安心のある、すこやかな暮らしが営めるまちづくりを目指す。</p> <p>きらめき文化創造 「農村田園文化」を代表とする八木町の風土や特性を、暮らし・産業・観光など多方面に活かし、後世に伝えるまちづくりを進める。</p>																
<p>将来フレーム</p>	<p>(平成17年 総人口：15,000人、 4,875世帯) (平成17年 住居系市街地人口：約9,000人、約3,000世帯 住居系市街地規模：約100ha)</p>																
<p>土地利用方針</p>	 <table border="1" data-bbox="1177 1765 1401 1953"> <thead> <tr> <th>凡</th> <th>例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オレンジ色</td> <td>市街地ゾーン</td> </tr> <tr> <td>赤色</td> <td>将来市街化検討ゾーン</td> </tr> <tr> <td>青色</td> <td>産業ゾーン</td> </tr> <tr> <td>灰色</td> <td>農業・レクリ混合ゾーン</td> </tr> <tr> <td>黄色</td> <td>田園集落ゾーン</td> </tr> <tr> <td>緑色</td> <td>町民に身近な森林緑地ゾーン</td> </tr> <tr> <td>濃緑色</td> <td>地域の財産となる林産緑地ゾーン</td> </tr> </tbody> </table>	凡	例	オレンジ色	市街地ゾーン	赤色	将来市街化検討ゾーン	青色	産業ゾーン	灰色	農業・レクリ混合ゾーン	黄色	田園集落ゾーン	緑色	町民に身近な森林緑地ゾーン	濃緑色	地域の財産となる林産緑地ゾーン
凡	例																
オレンジ色	市街地ゾーン																
赤色	将来市街化検討ゾーン																
青色	産業ゾーン																
灰色	農業・レクリ混合ゾーン																
黄色	田園集落ゾーン																
緑色	町民に身近な森林緑地ゾーン																
濃緑色	地域の財産となる林産緑地ゾーン																